

# 令和4年度 第4回(確定稿) 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録

■日時:令和4年11月8日(火)18時00分～

■会場:オンライン(Zoom)

## 1. 報告事項

- (1) 業務報告(令和4年9月・10月)について【資料1、2、3】
- (2) 業務予定(令和4年11月・12月)について【資料4】
- (3) 「災害ボランティアセンタースタッフ養成講習会」について【資料5】

○事務局より、(1)～(3)について資料を用い説明を行った。

【事務局】(3)について、参加された委員から一言いただきたい。

【委員】災害ボランティアセンターの設置運営訓練を図上訓練で行い、総合防災訓練で活かすことができた。

【副委員長】「災害ボランティアセンタースタッフ養成講習会」は教養講座ではなく、スタッフとして必ず登録するの  
か。

【事務局】必ずではないが、災害ボランティアセンターを運営する場合には協力してもらえるとありがたい。一人  
でも多くの市民に学んでもらいたい。

【副委員長】社協のスタッフ要員として登録してもらうことではなく、スキルを身に付けてもらうための養成講  
座と理解して良いか。

【事務局】受講後に、災害ボランティアセンターをサポートしてくれる団体の西東京レスキューバードに加入して  
もらえると良いが絶対条件ではない。

【副委員長】入会した人はいるのか。

【事務局】紹介はしたが入会したかは確認する。

## 2. 審議事項

- (1) 令和4年度第3回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録(未定稿)について【資料6】

## 3. 協議事項

- (1) 令和5年度「災害ボランティア養成講習会」について【資料7】

【事務局】来年度の「災害ボランティア養成講習会」に、多くの市民に関心を持ってもらい、参加してもらうこと  
ができるのか意見、アイデアをいただきたい。

【委員】平成26年度から30年度は土曜日に開催していたため、会社員などの受講者が多かった。その後は  
平日開催になり受講者が減っている。実際に災害が起きた時、会社員は市内に居ない。その場にい

る人を集めるにはどうしたら良いかと考え、平日開催としてきた。現在市内では、色々な場所で様々な年代の人たちに対し災害の講座が開かれている。そのような人たちとつながり、PR していくことも必要ではないか。

【委員長】受講生の年代や男女比などの傾向はあるのか。

【事務局】傾向としては男性が少し多く、年代は高めである。

【理事】土曜日開催から平日に代わったことにより参加人数が減ったということだが、コロナの影響でリモートワークが増え、休職中だが平日に家に居る人は増えているのではないか。改めて土曜日開催してみてもどうか。また、誰でも来てほしいというが集まらないが、こういう人に来てほしいという、当てはまる人が来てくれる。ターゲットを決めて前面に出すと良いのではないか。

【委員】土曜日開催は参加しやすくて良い。ターゲットは絞り過ぎない程度が良いのではないか。回数も調整がしにくいというデメリットがあるので早めに打ち出していくことが大事である。災害ボランティアについての意識改革をしていける取り組みも必要だと思う。

【事務局】検討し進めていきたい。

【委員長】他に聞きたいことはあるか。

【事務局】高齢者施設では災害時に職員だけでは厳しいと思うが、地域とのつながりなど対応策はあるのか。

【委員】近隣小学校の避難所開設訓練に参加し、小学生に高齢者を知ってもらうための講義をしている。つながりは必要だと思う。高齢者施設で働く人にとって災害ボランティアについての学びは、いざという時に役立つが、複数回の全日程に出席することはシフトで働く人にとっては困難である。ターゲットを明確にすることには賛成である。

【事務局】西東京レスキューバードが、学校と地域が共に歩む社会づくり「まちなか先生」の取り組みで、小学校の防災教育の手伝いをしている。学校の取り組みを聞きたい。

【委員】本校では 10 月 8 日の土曜日に全校児童と保護者を呼び土曜授業を行った。警察と消防、西東京レスキューバードの協力の下、全校児童が防災・防犯の 14 のブースを回る、総合的防災訓練を行った。避難所開設訓練では「小学生も地域の力」「地域のヒーローに学ぼう」という二つのテーマがあり、参加した 6 年生の子どもたちは一生懸命学び、良いまとめをしていた。5 年生は近隣の高齢者施設や包括支援センターの職員に来てもらい三角巾体験を行った。地域の防災・防犯への意欲付けができたと思う。また、12 月には近隣中学校と合同で避難所開設訓練を行うため、準備をしているところである。

【事務局】地域とのつながりは大切である。保育園や障がい施設の取り組みを聞きたい。

【委員】保育園では BCP を作成しているが、整備していかなくてはならない。

【委員】障がい施設でも BCP を作成途中である。地域の方との連携については、避難所開設、運営では互いに協力をしていくことをイメージしている。災害ボランティアにお願いをするという視点はなかった。施設に居る時に被災した場合は対応できるが、利用者は市内に点在しているため在宅中だと、どこで誰が困っているか情報がない。独居の障がい者の場合は連絡手段のない人もいる。そういう障がい者を支えるために地域の人たちと連携していかなくてはならないと話している。民生委員の方を頼りにしているが、民生委員がいない地区があったり、障がい者の存在を把握していなかったりすることもあった。災害ボランティアだけではなく、近くの人が障がい者の安否確認や困った時に助けられらるとありがたい。独居で孤立してしまう恐れのある人の子承を得てリストを作成し、BCP に組み

込む取り組みをしている。

【事務局】いただいた意見を参考に次年度の検討をしていきたい。

【委員長】それぞれが防災対策を行っているが期待通りにいかなかった時、地域のつながりや普段の訓練が力を発揮する。地域、団体、機関などにビジョンを持って働きかけていくことが大事である。

## (2) 委員選出について【資料8】

○事務局より、資料を用い説明を行った。

【委員長】次回の運営委員会では具体的に候補者の名前が挙がってくるということで良いか。

【事務局】その通りである。3月には確定し委嘱の準備に入りたい。

【事務局】ボランティアセンターとして今何を求められているのかを考えている。運営委員の皆さんにはボランティアセンターの役割や期待することなどを一緒に考え意見をもらいたい。

## 4. その他

### (1) 次回 運営委員会日程について

■日時:令和5年1月10日(火) 18:30~

■会場:

資料 1: 西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(令和4年9月・10月)

資料 2: ボランティアコーディネート状況月次報告(令和4年9月)

資料 3: ボランティアコーディネート実績表(令和4年9月)

資料 4: 西東京ボランティア・市民活動センター事業業務予定(令和4年11月、12月)

資料 5: 災害ボランティアセンタースタッフ養成講習会 報告.

資料 6: 令和4年度第3回運営委員会要点記録(未定稿)

資料 7: 災害ボランティア養成講習会実施状況

資料 8: 運営委員会 委員名簿

参考: (1) ぼらんていあ倶楽部第120号(令和4年11月15日発行)